

令和7年度北見工業大学後援会
「KIT げんき会」総会資料

日 時：令和7年7月16日（水） 14：45～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

目 次

1. 議事次第	1
2. 令和7年度役員名簿(案)	2
3. 令和6年度事業実施報告書	3
・学生に対する支援	
(1) 語学研修プログラム参加旅費の助成	4
(2) 協定校へ留学する学生の生活費の助成	22
(3) 短期交流研修(派遣)の助成	24
(4) 留学生派遣の助成	28
(5) インターナショナルCアワー開催の助成	29
(6) 留学生交流イベントの助成	31
(7) 学生表彰	33
(8) 学生向け電子ブック購入の助成	34
・大学広報等への支援	
(1) 女満別空港広告看板掲出料の助成	36
・北見ぼんちまつり参加への支援	
(1) 北見ぼんちまつり参加への助成	37
4. 令和6年度決算書	38
5. 監査報告書	39
6. 令和7年度事業計画書(案)	40
7. 令和7年度予算書(案)	41
8. 規約	42
9. 令和6年度KITげんき会法人会員名簿	44

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 令和6年度事業報告、決算報告について

(3) 令和7年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」 令和7年度役員名簿（案）

顧問	辻 直 孝（北見市長）
〃	榮 坂 俊 雄（北見工業大学学長）
会長	舩 川 誠（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
副会長	林 正 道（北見鉄工協同組合理事長）
〃	渡 部 徳 章（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
〃	大 坪 広 則（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）
〃	吉 田 茂 夫（北見医師会会長）
〃	橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
常務理事	村 田 美 樹（北見工業大学副学長）
理 事	森 山 雅 史（北見歯科医師会会長）
〃	木 村 眞 吾（北見ぼらんち会会長）
〃	諏 江 春 樹（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）
〃	片 山 隆 文（北見信用金庫理事長）
〃	河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）
〃	篠 尾 和 孝（北見舗装協会会長）
〃	福 井 美 砂（北見薬剤師会会長）
〃	辻 好 治（北見市観光協会代表理事）
〃	内 海 和 彦（北見測量設計協会会長）
〃	永 田 裕 一（北見物産協会会長）
〃	五 十 嵐 龍（北見建設業協会会長）
〃	中 地 大 介（北見金融協会会長）
〃	増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）
〃	真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
監 事	小 澤 實之郎（日本赤十字社北見市有功会相談役）
〃	有 田 敏 彦（北見工業大学同窓会長）

（順不同：敬称略）

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和6年度事業実施報告書

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	令和6年7月12（金）開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	海外研修プログラム参加旅費の助成 ・インドネシア×1人 ・タイ×2人 ・台湾×4人 ・カナダ×5人 ・ニュージーランド×4人 協定校へ留学する学生の生活費の助成 ・ポーランド（クラクフ工業大学）×1人 短期交流研修（派遣）の助成 ・韓国×4人 留学生派遣の助成 （地域の各種団体等への留学生の派遣） ・計2回派遣 インターナショナルCアワー開催の助成 ・計12回開催 留学生交流イベントの助成 ・令和7年2月13日（木）開催 就職支援助成（地元企業合同セミナー） ・令和6年度は不開催 学生表彰 学生向け電子ブック購入の助成
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	北見ぼんちまつり参加者への助成

令和6年度 K I T げんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

海外研修プログラムへの参加旅費の助成（インドネシア）

2 事業概要

（1）研修先

パジャジャラン大学

（2）研修期間

令和6年7月29日（月）～令和6年8月2日（金）

（3）助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・社会インフラ工学コース・交通工学研究室4年
氏 名	盛祥平
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今年度の本プログラムのテーマは「環境」であり、2日目の講演会においては海洋環境保護に関する取り組み・研究の一部の内容を知り、専門外ではあったものの、様々な知見を得ることができた。フィールドトリップでは、マングローブの植栽体験といった非常に貴重な経験をすることができた。インドネシア文化体験では、伝統楽器の演奏や、一枚の布に各々が決めたデザインを型取るブティック製作などを体験することができた。また、プログラム全体を通して、現地の学生の優秀さが伺えた。講演後の質疑応答の時間では、積極的に手を挙げる学生が多く、活発な議論がなされていた。さらに、本プログラムの行程管理や参加者の空港までの送迎、現地での案内に関しては、学生委員会が主として行っていた。予定が遅れても柔軟に対応してくださり、非常に感謝している。最後に、本プログラムへの参加を通して、現在の日本での生活がいかに恵まれたものであるかを改めて感じることができ、非常に有益であった。

謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞	KIT げんき会 御中 この度は、本学の協定校であるインドネシアのパジャジャラン大学で開催されたサマープログラムへ参加する機会を頂き、誠にありがとうございます。 貴団体からのご支援により、貴重かつ忘れられない国際経験を得ることが出来ました。他国からの参加者との英語を通じたコミュニケーションはもちろん、現地の学生とも沢山コミュニケーションをとることができました。本プログラムは非常にしっかりと行程が組まれており、毎日が密度の濃い1日でした。ご支援いただいたことにより、私自身、大きく成長できたと実感しております。この成長は今後の研究活動、社会に出てからも大いに活かすことができると確信しております。 改めて、ご支援いただいた貴団体の会員の皆様に深く感謝申し上げます。これからも、このご支援に應えるべく、精進して参りますので、何卒よろしくお願い致します。 北見工業大学 4年 盛祥平
---	---

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

TNI サマープログラム 2024 参加旅費の助成（タイ）

2 事業概要

研修先	泰日工業大学（タイ・バンコク市）
研修期間	令和6年8月26日～令和6年9月3日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・4年
氏 名	工藤 柊翔
報 告 ※本研修により得た 成果について400 字程度で記入	泰日工業大学で出会った友人たちは、タイ語、英語、日本語の3言語を自在に使いこなしており、特に英語は主言語と遜色ないレベルでした。日常生活で英語を使う機会はほとんどありません。しかし、タイでは幼稚園から英語を学び始め、大学生になると英語の習得は当然とされ、第3言語の習得も求められます。タイは海外企業や外国からの投資を積極的に誘致しており、バンコクには多くの日系企業や外資系企業が進出しています。そのため、学生たちは外資系企業や日系企業での勤務するため、語学習得に力を入れています。そのため、タイの友人は1年以上の留学を経験している人がたくさんいました。積極的に国外へ飛び出し、学びを求める姿勢は日本人にはないものを感じました。私は彼らから、自分自身の視野を広げ、学びを得るため新たなフィールド飛び出す重要性を学び得ました。

謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞	泰日工業大学主催のサマープログラムに参加する機会を頂き、誠にありがとうございます。今回のサマープログラムを通し、貴重な経験や学びを得ることができました。特に、現地学生との交流を通し、タイの生活、文化、風土を感じることができ、強く心を揺さぶられました。改めて、ご支援いただいた貴団体の会員の皆様に深く御礼申し上げます。サマープログラム参加で得た経験を今後の学生生活に活かし、研究活動や課外活動に邁進して参ります。
--	--

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・4年
氏 名	盛 祥平
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	本プログラムへの参加で得た知見の1つに「日本との繋がり」の強さが挙げられます。泰日工業大学では、日本語授業の履修が必修となっており、実際に3～4年生にもなると、非常に上手に日本語を話す学生が多く見受けられました。まるで日本人と会話していると勘違いしてしまうほど、日本語が堪能でした。本プログラムでは、各々の参加者に数名の現地学生（バディ）がついており、私はバディから色々お話を聞くことができました。バディによると、高学年にもなると日本語授業の内容も難度を増し、日本人の私からしても、その内容は難しく感じました。彼らの現在の素晴らしい日本語力が、今まで努力してきた賜物であり、現地学生に強く感心したと伴に、私自身の今後の取り組み（言語取得や研究活動等）に対して、良い刺激を受けました。最後に、本プログラムへの参加は非常に有益なものであり、日本とタイの国際的交流を深めることができた9日間でした。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞	前回のインドネシア・パジャジャラン大学主催のサマープログラムに引き続き、今回のタイ・泰日工業大学主催のサマープログラムにも参加する機会を頂き、誠にありがとうございます。今回のサマープログラムでは、前回とはまた違った刺激を受け、全体を通して非常に有益かつ忘れられない経験となりました。特に、現地学生と深く交流することで、絆が深まったことはもちろん、タイでの生活のリアル（金銭面やタブー等）なども学ぶことができました。また、現地学生は非常に日本語能力に優れており、あまり苦労することなくコミュニケーションをとることができました。彼らの努力の成果に非常に感心させら

	れました。本プログラムでのタイとの国際交流を通して、異文化の実情を知れたり、現地学生の優しさ・思いやりに触れたり、沢山知見を得ることができ、これらは今後の生活のどこかに生きてくると感じています。改めて、ご支援いただいた貴団体の会員の皆様に深く御礼申し上げます。前回と今回のサマープログラム参加で得た知見を今後の生活に活かし、これからも精進して参ります。
--	---

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

海外研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

2 事業概要

研修先	中国医薬大学（台湾・台中市）
研修期間	令和6年12月24日～令和6年12月29日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏 名	黒崎和奏
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	私は大学4年間でできるだけ多くの経験を積みたいと考えています。そのうちの一つに留学があります。留学は言語を話すことだけではなく、その土地の文化に触れることもできます。現在大学で中国語を学んでいたこともあったので本研修に参加しました。しかし私は現地の方と意思疎通や日常会話を中国語で話すことができませんでした。私の勉強不足を感じた事と、対話においてどこを強調すれば相手に伝わるのか考えさせられる場面が多くありました。ミルクティーを注文し豆乳を渡されたとき、より一層会話できるようになりたいと思いました。 台湾で多くの場所を訪れましたが最も印象に残っていることは夜市です。日本の花火大会などにはない食べ物やゲームの屋台があり新鮮でした。子供から大人まで多くの人々が集まっており活気があふれていました。 台湾に行ったことで台湾について考えるきっかけを得られたと思います。

謝 辞 ※本助成を受けたことに対するＫＩＴげんき会会員への謝辞	この度は助成金ありがとうございます。貴重な経験を積むことができました。学ぶ姿勢を継続し努力を怠らず、台湾での経験を今後の人生様々な分野で生かしていきたいです。改めて助成金を支給してくださるＫＩＴげんき会会員の皆様に、敬意と感謝申し上げます。
---	---

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・３年
氏 名	林 祐里奈
報 告 ※本研修により得た成果について４００字程度で記入	本研修を通じて、「意思を伝える力」や「物怖じせずに話しかける力」を身につけることができました。最初に中国語を話したのは台北行きの飛行機で、緊張しながらも何とか伝わったことが非常に嬉しかったです。台湾では、現地の学生が私の拙い中国語を読み取ってくれました。しかし、店舗でのやり取りでは伝わらず、悔しい思いをする場面もありました。この経験を通じて、もっと語学力を高め、どんな場面でも自分の思いを伝えられるようになりたいと強く感じました。 また、台湾の文化や歴史について理解を深め、実際に体験することで、写真では感じるできない現地の雰囲気を感じることができました。日本の歴史にも興味を持つきっかけになりました。さらに、台湾の本場の食事を楽しむことができ、充実した時間を過ごすことができました。 最後に、台湾で案内してくれた学生たちの向上心や姿勢に強く憧れました。自分も日々努力して成長して、憧れに近づけるように頑張ろうと思いました。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するＫＩＴげんき会会員への謝辞	この度は台湾研修の助成金をいただき、誠にありがとうございました。現地で文化を学び、さまざまな考え方に触れることができ、視野が広がりました。また、初めて海外に行くことができ、楽しい思い出も得ることができました。貴重な経験をさせていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

所属専攻・学年	地球環境工学科・４年
氏 名	後藤 裕弥

報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	中国医薬大学での台湾研修によって以下の2点で成果・経験をいただきました。1点目は中国語講座です。日本語はほぼ一切なく中国語のみで講義が行われついていくのに必死でしたが、先生によるジェスチャーも含む丁寧な説明や他の受講生同士の復習のおかげで、街中で買い物ができる程度まで中国語を習得することが出来ました。 2点目は現地の大学生との国際交流です。頑張っで日本語で街中を案内していただき、交通公共機関の乗り方から屋台の難しい中国語のメニューの説明、神社において台湾での宗教に関する説明などサポートしていただいたことによって、生まれた国が異なっている人間性として大きな違いはないことを確認できました。また、おそらく中華人民共和国が民主主義の道を進み日本と強いつながりを持っていればこんな世界線もあったのだろうと想像できる台湾の歴史や町の風景等から、以前は中国人に苦手意識を持っていましたが、どこの国に生まれたのかではなくその人の性質を見て人を判断するようにしたいと考え方が変わりました。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞	本研修を受講するにあたり資金的に支援していただき本当にありがとうございました。国際理解や国際交流において新たな発見が多く自分の価値観が広がったとともに、台湾のチューターさんにとっても世話になったため、いつか恩返しができるかと考えています。このような体験をさせていただきあらためてありがとうございました。

所属専攻・学年	大学院工学研究科工学専攻・1 年
氏 名	矢田 雅弥
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	私が今回の語学研修に参加した理由は、海外への第一歩を経験したかったためと、現地の方々と交流し異文化をこの体で実感したいという思いがあったためです。初めての海外ということもあり緊張しましたが、台湾の大学の方々ははじめ多くの方に先導していただいたおかげで非常に楽しい研修を経験することができました。台湾の料理や景色、夜市など日本では体験することのできないような体験を多くできました。 また、研修中には中国語の講義を受けました。そこでは実際のお店で使えるような注文の仕方などを学び、講義後の市

	場では学んだ中国語を活かして注文し、現地の方々の雰囲気 に馴染んで交流することができました。 今回の研修で海外へ行きたいという想いがより強くなり、 英語や様々な言語を実践的に扱えるように勉強するきっか けとなりました。今回様々な方々に助けを求めた部分が多か ったので、自分の力で行動しコミュニケーションできる語学 力を身につけたいです。
謝 辞 ※本助成を受けたこ とに対するＫＩＴげ んき会会員への謝辞	この度は 5 万円という多額の助成金をいただきありがと うございました。今回の経験は自分にとって大きな一歩を踏 み出した経験となりました。この研修を活かして、今後の人 生ではより多くの国へ行き国際交流や異文化理解をしてい きたいです。改めて本研修に対するご支援、誠にありがとう ございました。

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

海外研修プログラムへの参加旅費の助成（カナダ）

2 事業概要

（1）研修先

カモソン大学（カナダ）

（2）研修期間

令和7年2月18日（火）～令和7年2月28日（金）

（3）助成対象・金額

8万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科 1年
氏 名	大貫 稜真
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	カナダのヴィクトリアでの研修を通して、英語のコミュニケーション能力の向上と実際に異文化に触れながら生活を送るという経験を得ることができました。2週間という短い滞在期間でしたが、授業、ホストファミリーや現地の人との交流により英語を使う機会が多くあり、日々生活していく中で徐々に先生やホストファミリー、現地の人のお話が理解できるようになるなど自分のリスニング能力の向上が自分自身で感じとることができました。過去に英語で会話した経験も多くはなかったので、実際に現地の人と話すときに自信を持つことができませんでした。自分で英文を考えながら会話の経験を重ね、現地の人に積極的に話しかけることができ改善に向かうことができました。また異文化の中で生活することによって、日本とは異なる価値観や習慣を学び、日本とカナダの違いを日々感じながら互いの国の良さというものを学ぶことができました。

謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞	このたび、カナダ研修への助成金をいただき心より感謝申し上げます。研修を通して、英語でのコミュニケーション能力の向上と、異文化での経験を得ることができました。今回のご支援のおかげでカナダのヴィクトリアでの研修という貴重な機会をいただきました。この経験を最大限生かし、さらに成長していきたいと考えております。今回は誠にありがとうございました。
---	--

所属専攻・学年	社会インフラ工学コース・2年
氏 名	小島佑久
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	大学で習っている英語は文法的な要素が強く、それを学ぶだけでは日常会話で流暢に話すことは出来ないと思います。ネイティブとの会話で、思い通りに伝わらないことや相手の言っていることを聞き取ることが出来ないことに不甲斐なさを感じました。高校までは受験のための英語を軸に学んできましたが、それだけでは国際的に社会で通用する基準に達しないのではないかと考えます。ネイティブとの会話を通じて実践的に英語を学ぶことで受験のための英語を勉強するだけでは得られないものがあると感じました。今後は英語を介して異文化交流を積極的にしていきたいです。 また、カモソン大学の企業説明会で建設会社をいくつか回りました。企業の方々が話している英語を聞き取ることができませんでしたが、大まかな内容が大学の授業で習ったものと似通っていたため理解することができました。土木の分野は世界規模で繋がっていることを実感しました。
謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞	KIT げんき会の方々には心より感謝申し上げます。この経験を糧に、大学でこの分野の専門的学習や4年次の研究に励もうと思います。また、今回の研修は将来のことを考える良い契機になりました。海外で土木技術を学び、日本の建設業界に還元するのも将来の選択肢の一つなのではないかと考えています。この度は本当にありがとうございました。

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科地域マネジメントコース・2年
氏 名	萩原 琴美

報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	現地まで一人で飛行機を乗り継いで行きました。ホストファミリーはゆっくり話してくれて自分が聞き取れないときは理解できるまで繰り返し話してくれました。何度かドライブに連れ出してくれて海や現地の様々なお店を楽しむことが出来ました。大学の授業は聞き取りが難しいと思う場面が多々あり苦戦しました。自分にとって一番難しいと思ったのは話すことです。頭では質問や言いたいことが思い浮かんでいるがそれらを英語に変換させようとすると単語や文法を一つ一つ考えてしまっていて言葉に詰まりました。単語で話しても相手に伝わりました。放課後は学校のスケジュールで博物館や公園、ハイキングに行き、日本では見られない景色や歴史を学ぶことが出来ました。学校のスケジュールが終わると買い物に行くことが多くありました。ビクトリアは治安が良く一人で出歩いても平気だと感じました。お店は早い時間に閉まるが多かったです。ビクトリアは多文化社会で優しい人が沢山いました。バス路線網がしっかりしていたので気軽に出かけることが出来ました。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITばんき会会員への謝辞	この度は助成金をありがとうございました。円安である今に多額の助成を嬉しく思います。助成金のおかげで2週間を楽しく過ごすことが出来ました。未知の土地でその地の文化や歴史に触れ、様々な人と関わり自分にとってかけがえのない経験となりました。自分の英語がもっと上達できるよう勉強を続けようと思います。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

所属専攻・学年	地球環境工学科 1年
氏 名	高橋 尚也
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回のカナダでの海外研修プログラムを通して、英語でのスピーキングやリスニングスキの向上や異文化理解を行うことができた。 授業では、毎回新しいトピックを決めクラスメイトと会話をした。 授業外での休憩時間でも英語で話すことが強制されるため、英語に浸り学習することができた。会話をするなかで質問力も同時に向上させることができた。

	また、最終日には集大成であるポスター発表を行い、英語で自分の興味関心を共有した。 加えて、都市部に出向いて博物館にいたり、海岸沿いや山でのハイキングを通してビクトリアを探索した。さらにビクトリアの様々な企業が集まるワークショップにも参加した。特にアイスホッケーはとても刺激的でとても興奮しました。 ビクトリアをめぐることは、勉強だけでは得られない経験や体験を得ることができた。 ホストファミリーとはハイキングや料理、スポーツなど楽しいひと時を過ごした。 ホストファミリーとの生活は、英語力の向上につながったし、なにより学校生活を支えてくれたのでとても感謝しています。機会があったらまた行きたいです。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	今回は助成していただき誠にありがとうございます。 金銭面で苦しいところがあったので、とてもありがたいです。この海外研修は自分自身の視野を大きく広げてくれる素晴らしい体験になりました。

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科機械知能生体工学コース・2年
氏 名	舘山 美沙
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回のカナダでの2週間の短期留学を通じて、英語力の向上と異文化理解の深化という大きな成果を得ることができた。まず、英語力に関しては、授業や日常生活を通じてリスニングの力が向上した。特に、現地の人々との会話を重ねることで、実践的な表現や発音の自然な流れを学ぶことができた。また、異文化理解の面では、カナダの多様な文化や価値観に触れることで、異なる背景を持つ人々との交流の大切さを実感した。ワークショップを通じて、先住民族の文化について深く学んだ。ホストファミリーとの共同生活では、相手の習慣や考え方を尊重しながら過ごすことの重要性を学び、柔軟な対応力やコミュニケーション力が養われた。この経験を通じて、

	英語を使うことへの自信がつくとともに、グローバルな視点を持つことの大切さを再認識した。精神的な面では、何にでも何度でも挑戦する勇気が培われた。今後も継続して英語学習に励み、異文化交流の機会を積極的に活用していきたい。
謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞	この度、2週間のカナダ短期留学に際し、KIT げんき会様より助成金を賜り、心より御礼申し上げます。貴団体の温かいご支援のおかげで、現地での学びや異文化体験に専念でき、英語力の向上や異文化理解を深める貴重な機会を得ることができました。北見げんき会会員の皆様のご厚意に応えるべく、今後も学びを続け、さらなる成長に努めてまいります。重ねて、誠にありがとうございました。

令和6年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

海外研修プログラムへの参加旅費の助成（ニュージーランド）

2 事業概要

研修先	ワイカト大学（ニュージーランド・ハミルトン市）
研修期間	令和7年 2月24日～令和7年 3月21日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏 名	黒崎 和奏
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	私は、ニュージーランドで四週間の英語研修に参加しました。今回の留学は、人生初のホームステイを経験する貴重な機会となり、多くの学びを得ることができました。授業でプレゼンをしたり周りの人と会話する機会が多くありました。また、授業以外でもホームステイ先や街での買い物など、日常生活の中で英語を使うことが求められました。自分の知っている英単語を使って相手に伝えるのに最初は苦労しました。 今回の留学でよかったことは、多くの人とかわることができたことです。クラスメートやホストファミリーと積極的にコミュニケーションを取ることで、異文化理解が深まりました。また、自分の知っている英単語で会話し次回のために新しいニュアンスを覚えました。ニュージーランドでは、日本とは異なる点が多くありました。例えば日本とは違うお弁当、交通ルールの細かい違い、お湯の大切さです。環状交差点の使い方や歩行者優先のルールが日本と異なっていたため、最初は戸惑うこともありましたが、徐々に慣れていきました。日本車が多かったことも印象に残ってます。

	今振り返ると、あっという間の四週間でしたが、とても充実した研修になりました。人間力も高まったと感じています。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するＫＩＴげんき会会員への謝辞	この留学の実現にあたり、支援のおかげで、貴重な経験を積むことができました。今回のニュージーランド留学を通じて、英語力の向上だけでなく、異文化の中での適応力やコミュニケーション力を養うことができました。特に、多くの人と積極的に関わることの大切さを実感しました。今後もこの経験を活かし、さらに英語力を伸ばしていきたいと考えています。

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・２年
氏 名	菅原 熙太
報 告 ※本研修により得た成果について４００字程度で記入	本研修では自分が持っている英語力と現地の英語には大きな差があることを実感しました。発音が日本語寄りになってしまい上手く伝わらないことがあるのは想定していましたが、ネイティブの発音、会話スピードに対応できなかった経験をしました。自分の英語力では世界に通用しないことを知り、勉強不足を痛感しました。その環境で１ヶ月間過ごした価値はとても大きかったと感じております。実際に生活に使う英語を調べながら、使用することで自分の表現力が広がったと感じています。ニュージーランドは多種多様な人々が生活しており、多種多様な文化を実際に触れ合い、学ぶことができました。本研修では１ヶ月間ホームステイをしており、このホストファミリーは母国の宗教を信仰しており、宗教についても教えて下さりました。この経験もホームステイならではの経験だと思います。今後とも、日々の努力を続けていきたいと思っています。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するＫＩＴげんき会会員への謝辞	この度は、本研修の助成金ありがとうございます。本研修では英語のほかに日本では経験できないことを多く経験することができました。この経験を社会に還元できるように日々努力をしていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

所属専攻・学年	地球環境工学科・３年
---------	------------

氏 名	直井 陽亮
報 告 ※本研修により得た 成果について400 字程度で記入	私は 1 カ月間、ニュージーランドで短期語学留学を行いました。授業では文法や単語を学ぶだけでなく、ニュージーランド独自の言葉、文化までも学ぶことが出来ました。英語で英語を学ぶことはもちろん初めての体験で、はじめはかなり戸惑いました。授業の回数をこなすにつれ、新しい文法用語の知識が増えたり、使える表現が増えたりと授業の内容の理解度が上がったと実感しています。授業中、またホームステイ先での会話は当然英語のみで、適切な単語が思い浮かばずに意図がうまく伝わらないことが多くあり、自分の語彙力のなさを実感させられました。そんな中、伝えたいことをうまく伝えられた時は非常に嬉しく感じ、英語を話すことへの自信に繋がりました。またスポーツを通して現地の学生や他の国から来ている留学生と交流することも出来ました。スポーツは世界共通のコミュニケーションツールの一つであるということをもっと体感しました。 一か月間のニュージーランド生活では多くの文化の違いを体感しました。食文化も大きく異なり、非常に貴重な経験となりました。この留学に参加したことで英語力の向上はもちろんのこと、またこれからの英語学習へのモチベーションが上がったと感じました。
謝 辞 ※本助成を受けたこ とに対するKITげ んき会会員への謝辞	ニュージーランドでの生活で毎日感じていたことの一つに「物価の高さ」があります。ものによっては日本の 3 倍ほどの価格で売られているものもあり、KIT げんき会様からいただける助成金は私にとって非常に大きな助けとなります。皆様のおかげで、ニュージーランドでの時間を有意義に過ごすことが出来ました。この 1 カ月で得た学びを決して無駄にすることなく、日々努力してまいります。語学研修プログラム参加への温かいご支援に深く感謝申し上げます。

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・3 年
氏 名	大門 陽紀
報 告 ※本研修により得た 成果について400 字程度で記入	今回の留学で得られたもので一番は英語をメインとして話す人たちと自分との明確な英語力の差です。ホームステイ先に着いてからというもの、自分の言いたいことがすぐに言葉にできなかったり、相手の話す内容が早すぎて理解でき

	なかつたりする場面が多々ありました。この経験を通じて、リスニング力やスピーキング力の不足を痛感し、英語学習の必要性を強く感じました。しかし、日を重ねるごとに、少しずつ英語でのコミュニケーションに慣れていきました。特に、ホストファミリーとの会話を通じて、日常的な表現や自然な会話の流れを学ぶことができました。さらに、現地の文化に触れることで、日本とは異なる価値観や考え方を知る機会にも恵まれました。例えば、朝食については、日本ではご飯やみそ汁などしっかりとした食事をとるのに対し、留学先ではシリアルやパン、フルーツなどといった簡単に準備できるものが一般的であり、朝食に対する考え方の違いを実感しました。このように、現地での生活を通じて、言語だけでなく、文化や習慣の違いを肌で感じることもできたことは、今後の人生において大きな財産になると確信しています。今後は、今回の経験を活かし、さらに英語力を高めるとともに、異文化理解を深める努力を続けていきます。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するＫＩＴげんき会会員への謝辞	この度の留学に際し、ＫＩＴげんき会の皆さまからご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様の助成がなければ、このような貴重な経験を得ることができませんでした。留学を通じて、自分の英語力の向上はもちろんのこと、異文化理解や価値観の違いを受け入れる柔軟な姿勢を養うことができました。改めまして、この度のご支援に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費の助成（ポーランド）

2 事業概要

（１）研修先

ポーランド クラクフ工業大学

（２）研修期間

2024 年 10 月 1 日～2025 年 2 月 14 日

（３）助成対象・金額

100,000円

3 助成対象者報告

所属・学年	工学部 地球環境工学科 環境防災工学コース 3年
氏 名	大宮 柊
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回の留学では、クラクフ工業大学で土木分野を学び、特にヨーロッパの交通インフラについて深く学ぶ機会を得ました。授業は英語で行われ、専門用語や講義内容の理解に苦労しましたが、現地の友人や教授のサポートを受けながら学びを深め、無事に最後までやり切ることができました。 また、留学を通じて多様な国籍の学生と交流し、異なる文化や価値観に触れる機会が増えました。さらに、東欧や北欧を旅行し、それぞれの国の歴史や社会について学ぶことで、自分の視野が大きく広がったと感じています。 今回の経験を通じて、将来的には国際的な視点を活かし、発展途上国のインフラ整備に貢献する技術者になりたいという目標が明確になりました。今回の貴重な経験を活かし、今後もさらなる成長を目指して努力していきます。

謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞	このたびのポーランド留学に際し、KIT げんき会の皆様からのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、異国の地で学び、多くの貴重な経験を積むことができました。 留学期間を通して、単に専門知識を学ぶだけでなく、異なる文化や価値観の中で生活し、多国籍の仲間と交流することで、視野を大きく広げることができました。言語や文化の違いに直面しながらも、環境に適応し、自らの成長を実感できたことは、今後の人生において大きな財産となると確信しています。 この経験を活かし、将来は国際的に活躍できる技術者として、社会に貢献したいと考えています。また、帰国後は、自身の経験をもとに工大に来ている留学生のサポートや、国際的な挑戦を考えている学生の後押しができるような活動にも取り組んでいきたいです。私自身が得た学びを次世代へとつなぎ、より多くの学生が海外へ目を向けるきっかけを作れたらと思っています。 改めまして、KIT げんき会の皆様のご支援に心より御礼申し上げます。
---	--

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（韓国）

2 事業概要

（1）研修先

慶尚大学校

（2）研修期間

令和6年10月23日（水）～令和6年10月27日（日）

（3）助成対象・金額

総額（4名分） 483,976円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	地域未来デザイン工学科・4年
氏 名	築山 寛大
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	本研修では、韓国慶尚大学校の視察や航空宇宙技術に関するシンポジウムへの参加、韓国の歴史や文化を学ぶなどの様々な経験をしました。慶尚大学校は移動するのに車が必要なほど敷地が広く、中にはカフェや歴史館、メタバース体験施設があるなど、その規模の大きさに圧倒されました。また、各施設を案内してくれた大学校の関係者の数人は、英語と日本語を話すことができたため、説明をよく理解出来ました。シンポジウムでは、聴講者と発表者の両方として参加しました。使用言語は英語であり、自分の英語力が不足していると感じた一方で、今まで自分の研究内容に対して英語でコミュニケーションを取る機会がほとんどなく、良い経験になりました。また、研修全体を通して韓国の文化に触れ、日本の文化と異なる点が多くあることを知りました。文化の違いで特に印象に残ったのは、食事の仕方で、韓国では食事をするときは器を手には持っていないとのことで、国によってマナーが大きく異なるのだと思いました。

	今回の研修を通して、海外への興味がわき、語学の勉強をより一層頑張っていきたいと考えています。
謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するＫＩＴげんき 会会員への謝辞	韓国・慶尚大学校との短期交流研修に参加するにあたり、ご支援いただき、ありがとうございました。本交流を通して、海外の大学の雰囲気や文化に触れることで、グローバルな視点を持つことができました。今回の貴重な経験を、今後の人生に生かしていこうと思います。

所属専攻・学年	工学専攻応用化学プログラム・２年
氏 名	和所慶将
報 告 ※本研修により得た成 果について４００字程 度で記入	北見工業大学と姉妹協定を結ぶ韓国の慶尚大学校を訪問し、キャンパスツアーや韓国の歴史についての講義を受けました。見学した研究施設には、私の研究に関わる二次電池の作成を行う研究室や、3D プリンター技術の体験ができる場、バイオテクノロジーの最先端研究に携わる施設が含まれており、非常に興味深い内容でした。また、大学内には地域の人々も利用できるメタバース体験施設が設置されており、発展途上の技術ながらも先端技術に触れられる素晴らしい取り組みだと感じました。歴史講義では、紙幣を通じて学ぶ身分制度や晋州市の歴史、作家に関する話など多岐にわたる興味深い内容を聞くことができました。さらに、大学敷地内にある博物館では朝鮮半島南部から出土した遺物を見学し、古代の日本と朝鮮半島の交流や昔の印刷技術などについても学びを深めることができました。参加した学会は、航空機技術の学会であり研究分野は異なるものの材料に関する興味深い研究もあり、有意義な時間を過ごしました。また、スライド構成や発表方法も学ぶことができました。
謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するＫＩＴげんき 会会員への謝辞	この度、韓国研修に参加させていただき、貴重な経験を積むことができました。研修を通じ、韓国の先端技術や文化、歴史について学びを深め、大変有意義な時間を過ごすことができました。皆様からのご支援とご厚意に心より感謝申し上げます。この経験を今後の学びや研究活動に生かしてまいります。

所属専攻・学年	工学専攻 応用科学プログラム 2年
氏 名	沼田晃大
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	慶尚大学校では、研究設備の見学に加え、装置の種類や測定内容についても詳しく説明をしていただきました。特に、二次電池の作製は、普段自分が研究している材料の応用先の一つであるため、直に見学できたことは非常に貴重な経験となり、今後の研究にも大きな刺激となりました。 また、現地の方との交流を通じて、韓国の文化や価値観についても学ぶことができました。日常の習慣や歴史に関する講義を受ける中で、講師の方が日本に来た時に感じた韓国との違いについても教えていただき、普段気にしないことへの新たな視点を持つことができました。 学術大会では、航空技術及び作製工程に関する学会であり、自分の専門ではない分野の学会ではあったのですが、未知の技術や様々な材料の応用に触れることができ、知見を広めることができました。また、自分は飛行機の窓として用いられるスマートウィンドウへの応用として、ニッケル酸化物を用いたエレクトロクロミック技術を紹介させていただき貴重な機会となりました。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	今回の研修に参加するにあたり、貴重な助成をいただき、心より感謝申し上げます。韓国での交流や学術大会を通じて多くの知識と経験を得ることができました。この貴重な経験を活かし、今後の研究活動により一層精進していきたいと考えております。改めて、深く感謝申し上げます。

所属専攻・学年	共創工学専攻 1年
氏 名	Novik Kurohman
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	2024年10月23日から27日まで、韓国の晋州にある慶尚国立大学で開催されたISATMP-24セミナーに参加する機会に恵まれました。このイベントは、研究者、専門家、学生が、特に航空宇宙、製造工学における技術および材料科学の進歩に関する知識を交換するための優れたプラットフォームを提供しました。

	初日には、慶尚大学の国際代表管理者が基調講演を行い、北見工業大学の代表者を歓迎しました。その後、夜には歓迎パーティーが開かれ、他の参加者とネットワークを築き、学者や大学のリーダーと非公式に交流する温かい機会となりました。 また、代表者は研究室を訪れ、いくつかの施設を訪問しました。大学の研究室施設のガイド付きツアーに参加し、材料科学研究で使用される最先端の機器や実験装置を観察することができました。また、地元の伝統や歴史物語を楽しむために博物館にも招待されました。 10月25日は、午前と午後のセッションに分かれてプレゼンテーションが行われました。これらには対面とオンラインの両方の論文発表が含まれ、複合材料、空気力学、持続可能なエンジニアリングソリューションなど、幅広いトピックをカバーしました。各プレゼンテーション後のディスカッションでは積極的な参加が促され、代表者は洞察を共有し、質問を投げかけることができました。午後は産業フォーラム 1 に充てられ、晋州と泗川の主要拠点を視察し、地域の航空宇宙産業のインフラに対する理解を深めました。 翌日の 10 月 26 日は、韓国の古い村への文化訪問でした。10 月 27 日は日本への帰国でした。
謝 辞 ※本助成を受けたことに対する K I T げんき会 会員への謝辞	全体として、ISATMP-24 セミナーは充実した経験となり、航空宇宙材料と技術に関する革新的なアイデアと実用的な洞察を交換することができました。学術研究と産業応用の両方に触れることができたことは、土木工学と材料科学の継続的な研究にとって非常に貴重なものになると思います。また、大きなご支援をいただきました北見工業大学 KIT 元気会の皆様に心より深く感謝申し上げます。

1 実施事業名
留学生派遣の助成

2 事業の概要

留学生が、小中学校・高校において交流会に参加したり、国際理解授業の講師を務めたりして児童生徒と交流を行う。

3 参加者の様子

令和6年9月3日（火）、北見北斗高校で実施された「文型探索活動講演会Ⅱ」において、留学生1名を派遣し、本学における国際交流の紹介及び留学生と高校生の交流を行いました。

また、令和7年1月30日（木）、三輪小学校において、留学生13名を派遣し、留学生による自国紹介、児童による北見の紹介、英語を用いたゲームで交流を行いました。双方向の取り組みであったため、両者が異文化を理解することにつながりました。



4 謝辞

留学生派遣の実施にあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご支援により留学生に日本の高校及び小学校の様子を知ってもらうとともに、生徒等との交流を通じて、地域のことを知ってもらう貴重な機会にもなりました。賛助いただいたKITげんき会の皆様に、国際交流センター一同、心より感謝を申し上げます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

様々なプログラムを通して、留学生が日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

3 開催報告

第1回 留学帰国報告会（2024年4月17日開催）

第2回 新入生歓迎会（2024年4月25日開催）

第3回 海外留学・研修報告会（2024年5月21日開催）

第4回 短期留学生のふるさと紹介&留学生と一緒に学ぼう「防災」企画
（2024年6月4日開催）

第5回 ニュージーランド英語研修報告会（2024年6月7日開催）

第6回 カモソン大学研修生による報告会（2024年7月26日開催）

第7回 海外サマープログラム報告会（2024年10月22日開催）

第8回 居合道（2024年10月29日開催）

第9回 ハロウィン&新入生歓迎会（2024年10月31日開催）

第10回 ミャンマーを知る（2024年11月4日開催）

第11回 短期留学生の母国紹介&消防の救急（2024年12月18日開催）

第12回 日本の文化を学ぼう「就活！」&ハラルについて学ぼう！
（2025年1月28日開催）

4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全12回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたし

ております。皆様からのご支援により、食材、講師への謝金等を支出させていただきました。そのおかげで、留学生と市民、日本人学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

留学生交流イベント（留学生交流のタベ）の助成

2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との留学生交流イベント（留学生交流のタベ）を行う。

年に一度開催し、地域の各種団体等に対して、本学の留学生に対する支援に大学として感謝の意を表することを主な目的としている。

3 参加者の様子

令和7年2月13日（木）、本学コミュニケーションアトリウムにおいて、留学生交流イベント（留学生交流のタベ）を開催しました。令和6年度末で就学を終える留学生等、約120人が参加しました。

榮坂学長が冒頭、「言葉の壁や文化の違いで苦労したことがたくさんあったと思います。しかし、今まで大学や地域で経験し学んだことは、皆さんの貴重な財産です。」と挨拶し、留学生の努力をたたえました。その後、北見ロータリークラブの小池康幸会長から乾杯の音頭があり、参加者は交流を深めました。途中では、留学生によるアトラクションが行われ、フィンランドの短期交換留学生による居合道、モンゴルの留学生による民族舞踊、短期交換留学生による北見正調よさこいが披露され、拍手と喝采を浴びていました。

タベに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中に閉会となりました。



4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流のタベ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、食事を用意させていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 企画総務課

1 実施事業名

地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成

2 事業の概要

地域貢献活動等に積極的に参加した本学に在学する学生及び本学学生が組織する団体を表彰することで、学生生活の充実と地域の一層の活性化を図ることを目的とする。

3 謝辞

学生表彰へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度は、大学や地域の環境をよりよくし、生活しやすい場所にするために、海岸清掃や地域の方との交流イベント、不用品リユースなどの活動を行っている学生団体「北見工業大学環境保全学生委員会 KITeco（キテコ）」をKIT げんき会総会で表彰いたします。

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

1 実施事業名

学生向け電子ブック購入の助成

2 事業の概要

学生の利用が見込まれる図書を情報図書課内で選定し、自宅や研究室など図書館に来館せずアクセスできるよう、電子版を購入する。

3 購入図書一覧

別紙のとおり

4 謝辞

（本助成を受けたことに対するK I Tげんき会会員への謝辞を記入）

この度は皆様からの御厚志により、学生向け電子ブックの充実を図ることができました。今回、就職活動、資格試験、留学に関する図書など様々なジャンルの電子ブックを購入したことで、自宅や研究室などからいつでも活用することができ、本学学生への教育や学習支援に有用となっております。この場をお借りして感謝を申し上げます。

北見工業大学では学生のみならず、地域住民の方にも快適に図書館を御利用いただけるよう努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域の皆様に必要とされる図書館となるよう努力してまいりますので、今後とも御支援のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度購入 電子ブック一覧

番号	書 名	数量	金額(税込)
1	要点マスター！ 就活マナー 2026 (マイナビ2026 オフィシャル就活BOOK)	1	4,743
2	内定獲得のメソッド 就職活動がまるごと分かる本：いつ？どこで？なにをする？ 2026年度版	1	6,292
3	内定獲得のメソッド インターンシップ・仕事体験 2026年度版	1	7,018
4	外国人留学生のための就職活動テキスト 第2版	1	7,986
5	内定獲得のメソッド Web面接：オンライン面接の心得 2026年度版	1	7,453
6	公務員試験 寺本康之の面接回答大全 2025年度版	1	3,630
7	公務員試験 採点官はココで決める！合格論文術 2025年度版	1	4,356
8	公務員試験 採点官はココで決める！合格面接術 2025年度版	1	4,356
9	でるとこだけのSPI 2026年度版 (就活BOOK2026)	1	5,566
10	事務職・一般職SPI3の完全対策：先輩たちの情報から再現！2026年度版 (就活ネットワークの就職試験完全対策)	1	3,872
11	かんたん合格 ITパスポート過去問題集 令和6年度秋期 (かんたん合格シリーズ)	1	4,646
12	徹底攻略 ITパスポート教科書+模擬問題 令和6年度 (徹底攻略シリーズ)	1	5,735
13	Skills for the TOEIC® Test: Speaking and Writing (incl. Audio) (Collins - Academic)	1	19,360
14	Guide to the TOEFL® Test (Collins - Academic)	1	19,360
15	完全攻略！ TOEFL iBT(R) テスト 模試3回分 改訂版 (完全攻略！ TOEFL(R) シリーズ)	1	10,164
16	岩波文庫新書セット2024 (大学生活で身につけたい伝える能力) 50点 (2024/10-2025/3)	1	42,350
17	岩波文庫新書セット2024 (大学生活を豊かにする知的生き方のすすめ) 50点 (2024/10-2025/3)	1	42,350
	合 計	17	199,237

令和6年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 企画総務課

1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

2 事業の概要

女満別空港2階 出発ロビーへの広告看板掲出

3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成 17 年 4 月から継続して掲出しているものです。令和4年4月からは、北海道国立大学機構の設置に伴い、下記のとおりデザインを変更し、掲出しています。



4 謝辞

本事業に関しては、平成 17 年度から長きにわたりご支援をいただき心から感謝申し上げます。

令和6年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

北見ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

北見市恒例の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に学生及び教職員によるチームで参加し、本学の存在をアピールするとともに、地域の活性化に貢献しました。

3 参加者の様子



榮坂学長を団体長とする北見工大チーム

4 謝辞

本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

これからも地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思いますので、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和6年度決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	1,790,000	1,678,000 円	個人会員(22件) 78,000 円
			法人会員(104件) 1,600,000 円
寄 附 金 等	500,000	790,000 円	同窓会会員からの寄附(109件) 790,000 円
雑 収 入	500	8,182 円	預金利息 1,032
			残高証明書発行手数料の振替 7,150
前年度からの繰越	2,945,662	2,945,662 円	
合 計	5,236,162	5,421,844 円	

支出の部

項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	207,850	179,410 円	円
通 信 費	(内訳) 87,000	(内訳) 98,287	印刷物郵送料、返信用葉書 ほか 98,287 ・総会開催通知、会費納入依頼郵送料 及び封入作業代:89,152円 ・総会返信用葉書:9,135円
事 務 費	90,850	81,123	事務諸雑費 81,123 ・残高証明書発行手数料の合計:7,150円 振込手数料 ・後援会運営、各支援事業に係る 振込手数料の合計:1,540円 ・会費納入に係る振込手数料の合計:36,133円 KITげんき会会員銘板更新費用 ・プレート作成 12,100円×3枚=36,300円
印 刷 費	30,000	0	
大学援助費	3,538,500	2,880,138 円	
学生に対する支援	(内訳) 2,730,000	(内訳) 2,104,638	海外研修プログラム参加旅費の助成 (インドネシア50,000×1人、タイ50,000×2人、 台湾50,000円×4人、カナダ80,000円×5人、 ニュージーランド50,000円×4人、) 950,000 協定校へ留学する学生の生活費の助成 100,000 短期交流研修(派遣)の助成 443,526 留学生派遣の助成 (地域の各種団体等への留学生の派遣) 13,179 インターナショナルGアワー開催の助成 90,357 留学生交流イベントの助成 188,738 就職支援助成 (オホーツク合同企業セミナー) ※令和6年度は不開催 0 学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) 119,601 ※R5、R6表彰分 学生向け電子ブック購入の助成 199,237 大学広報等への支援 627,000 女満別空港広告看板掲出料の助成 627,000 北見ぼんちまつり 参加への支援 181,500 北見ぼんちまつり参加者への助成 148,500
予 備 費	1,489,812	0 円	
支 出 計		3,059,548 円	
次年度繰越金		2,362,296 円	
合 計	5,236,162	5,421,844 円	

監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、令和6年度北見工業大学後援会
収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理され
ていると認めましたので報告いたします。

令和7年6月17日

監 事

山澤 寛之郎



監 事

有田 敏彦



北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和7年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	海外研修プログラム参加旅費の助成 【派遣先（案）】 ・北米×5人 ・アジア、大洋州×12人 ※派遣先は実施時の情勢により決定 協定校へ留学する学生の生活費の助成 短期交流研修（派遣）の助成 ※令和7年度は受入側 留学生派遣の助成 （地域の各種団体等への留学生の派遣） インターナショナルCアワー開催の助成 留学生交流イベントの助成 学生表彰 （地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰） 学生向け電子ブック購入の助成
2) 北見ぼんちまつり参加への支援	北見ぼんちまつりの参加者への助成
3) 大学祭への支援	大学祭花火大会への助成

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和7年度予算書(案)

収入の部

項 目	予 算	備 考
会 費	1,575,000 円	個人会員(25口 × 3,000円) 75,000 円 法人会員(150口 × 10,000円) 1,500,000
寄 附 金 等	700,000 円	同窓会会員からの寄附(700口 × 1,000円) 700,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	2,362,296 円	
合 計	4,637,796 円	

支出の部

項 目	予 算	備 考
後 援 会 運 営 費	274,550 円	円
通 信 費	(内訳) 147,000	147,000 印刷物郵送料、返信用葉書 ほか ・総会開催通知発送料:45,000円 ・総会出欠返信用葉書:17,000円 ・会費納入依頼発送料:85,000円
事 務 費	97,550	事務諸雑費 97,550 ・残高証明書発行手数料:7,150円 振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料:2,000円 ・会費納入に係る振込手数料:40,000円
印 刷 費	30,000	KITげんき会会員銘板更新費用 ・プレート作成 12, 100円×4枚=48,400円 ・納付書等印刷費:30,000円 30,000
大 学 援 助 費	2,151,500 円	
学生に対する支援	(内訳) 1,770,000	海外研修プログラム参加旅費の助成 1,000,000 【派遣先(案)】 80,000円×5人=400,000円(北米) 50,000円×12人=600,000円(アジア、大洋州) ※派遣先は変更となる可能性あり 協定校へ留学する学生の生活費の助成 240,000 短期交流研修(派遣)の助成(隔年) 0 ※令和7年度は受入側 留学生派遣の助成 10,000 (地域の各種団体等への留学生の派遣) インターナショナルCアワー開催の助成 150,000 留学生交流イベントの助成 190,000 就職支援助成(オホーツク合同企業セミナー) 0 ※令和7年度は実施しない 学生表彰 30,000 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) 学生向け電子ブック購入の助成 150,000 北見ぼんちまつり 181,500 参加への支援 大学祭への支援 200,000 大学祭花火大会への助成 200,000
予 備 費	2,211,746 円	
合 計	4,637,796 円	

北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。

4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。

5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

2 総会に次の事項を付議する。

- 一 役員の選任、解任

二 事業計画及び事業報告

三 予算及び決算

四 規約の制定及び改廃

五 その他本会の運営に必要な事項

3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。

4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。

5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。

6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

2 事務局には、次の職員を置く。

一 事務局長

二 事務局員

3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

一 個人会員 一口 3,000円

二 法人会員 一口 10,000円

3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。

2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。

3. 初年度の役員の任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。

令和6年度KITげんき会 法人会員名簿

(50音順 敬称略)

赤坂木材株式会社
有限会社 旭防電
網走信用金庫
天内工業株式会社
株式会社 天内工務店
五十嵐建設株式会社
池田煖房工業株式会社
株式会社イズム・グリーン
イト電商事株式会社
稲村電設工事株式会社
NHK北見放送局
遠軽信用金庫 北見支店
大槻理化学株式会社
岡村建設株式会社
岡本建設株式会社
オホーツク技術士委員会
株式会社オホーツク大地
オホーツクビール株式会社
株式会社 海田鋼材
株式会社 管野組
北見医工連携研究会
一般社団法人 北見医師会
北見管工事事業協同組合
北見金融協会
北見建設業協会
北見工業団地会
北見歯科医師団
北見市観光協会
北見市商店街振興組合連合会
北見市役所 部課長会
北見商工会議所
北見信用金庫
北見測量設計協会
北見地方生コンクリート協同組合
北見通運株式会社
北見鉄工協同組合
北見土木技術協会
株式会社 北見ハッカ通商
北見物産協会
北見舗装協会

旭陽電機株式会社
金星北見ハイヤー株式会社
株式会社 倉本鉄工所
株式会社 グリーنز北見
桑原電工株式会社
桑原電装株式会社
小西工業株式会社
株式会社 小林印刷
有限会社小林 寿司の小林
株式会社 小柳中央堂
株式会社 斉藤商店
株式会社坂口精肉店
佐藤電気株式会社
株式会社 サン園芸
株式会社 システムサブライ
株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア
財団法人 消防試験研究センター
株式会社 ダイイチ
大幸建設株式会社
谷口電工株式会社
株式会社 田巻美石園
株式会社 つうけん
有限会社ティーエム商事
株式会社電建
東宝ビル株式会社
株式会社 時枝工業
株式会社 ドボク管理
株式会社 中神土木設計事務所
永田製飴株式会社
株式会社 中村商会
株式会社 成中クリーニング
日東建設株式会社
一般社団法人日本自動車販売協会連合会 北見支部
株式会社 林鉄工
株式会社 パル設計事務所
東北海道いすゞ自動車株式会社
光化成株式会社
株式会社 福地工業
株式会社 舟山組
株式会社 北辰工業

北辰土建株式会社
北成建設株式会社
北東電気株式会社
株式会社 北洋銀行
北洋建設株式会社
株式会社ホクリンコンサルタント
北海電建株式会社
北海道ガス株式会社
北海道北見バス株式会社
北海道銀行
北海道獣医師会 オホーツク支部
北海道中小企業家同友会 オホーツク支部
北海道糖業株式会社
北海道溶接協会北見支部
株式会社 ホテル黒部
益村測量設計株式会社
有限会社 松原新聞販売店
株式会社 マルモ
水元建設株式会社
村井小泉建設株式会社
株式会社 山腰測量設計事務所
株式会社 山下金物店
株式会社 吉崎工業所
リコーITソリューションズ株式会社

※令和6年度に会費を納入いただいた法人様を掲載しております。